

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画		
時 期	3年前期	単 元	実 習	教科名	エアブラシ
科 目	車枠及び車体・電子制御装置の整備作業	教科書等 持参品	エアブラシ 防毒マスク		発行日 2026年3月31日
総時限	46				教科 担当
総時間	73.6				上谷 晃一 濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
・車体整備士として板金・塗装全般の実務経験がある教員により自動車板金、塗装全般の作業・作動について指導する。 ・エアブラシ講師としてトータルIT竹島 敏也					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
・エアブラシを実践する事によりボカシの技術を身につける。 ・色の3原色を使って調色ができる。 ・フリーハンドで絵が描けるレベルになる。 ・クリヤーによる仕上げ作業ができる。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
・エアブラシの基礎を学ぶ ・トリガー式エアブラシの機能、構造を理解する。 ・ダブルアクション・タイプ・エアブラシの機能、構造を理解する。 ・フリーハンドで光と影を使った人顔の描きかたを学ぶ。 ・フリーハンドの応用を実践し作品をつくる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・グループによる作品づくりを行ない、技量と取り組み姿勢を100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。 - 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと					
6. 学修時間と単位					
本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。 1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。					

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	エアブラシ	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	・エアブラシの基礎知識					
2	・エアブラシ・ガンの機能と知識					
3	・ダブルアクション式ガンの機能と構造				・エアブラシ・Wアクション	
4	・トリガ式ガンの機能と構造				・エアブラシ・トリガー	
5	基礎訓練					
6	・点の種類と描きかた				・アドミラ塗料	
7	・線の種類と描きかた				ブラック色	
8	・円の種類と球体の描きかた				専用シンナー	
9	・人顔の描きかた				専用エア配管	
10	"				作業台	
11	・光と影を使った人顔の描きかた				小型イーゼル	
12	"				ウエス	
13	ボカシ塗りの仕方				ラッカーシンナー	
14	"					
15	"					
16	"					
17	・色の使い方（3原色の使い方）				・アドミラ塗料	
18	"				ホワイト、レッド、ブルー、イエロー	
19	"				専用シンナー	
20	"				ラッカーシンナー	
21	"					
22	"					
23	"					
24	"					
25	・水平線を使つての描きかた					
26	"					
27	"					
28	"					
29	"					
30	"					
31	"					
32	・色を使つての人顔の描きかた					
33	"					
34	"					
35	・アルミ複合板での基礎背景の作成					
36	・アルミ複合板を使つての作品作り				・大型イーゼル（グループ毎）	
37	"				・作品作り用画像	
38	"				・アルミ複合板（グループ毎）	
39	"					
40	"					
41	"					
42	"					
43	"					
44	"					
45	"					
46	"					

※ 期末試験は授業時間に含まない